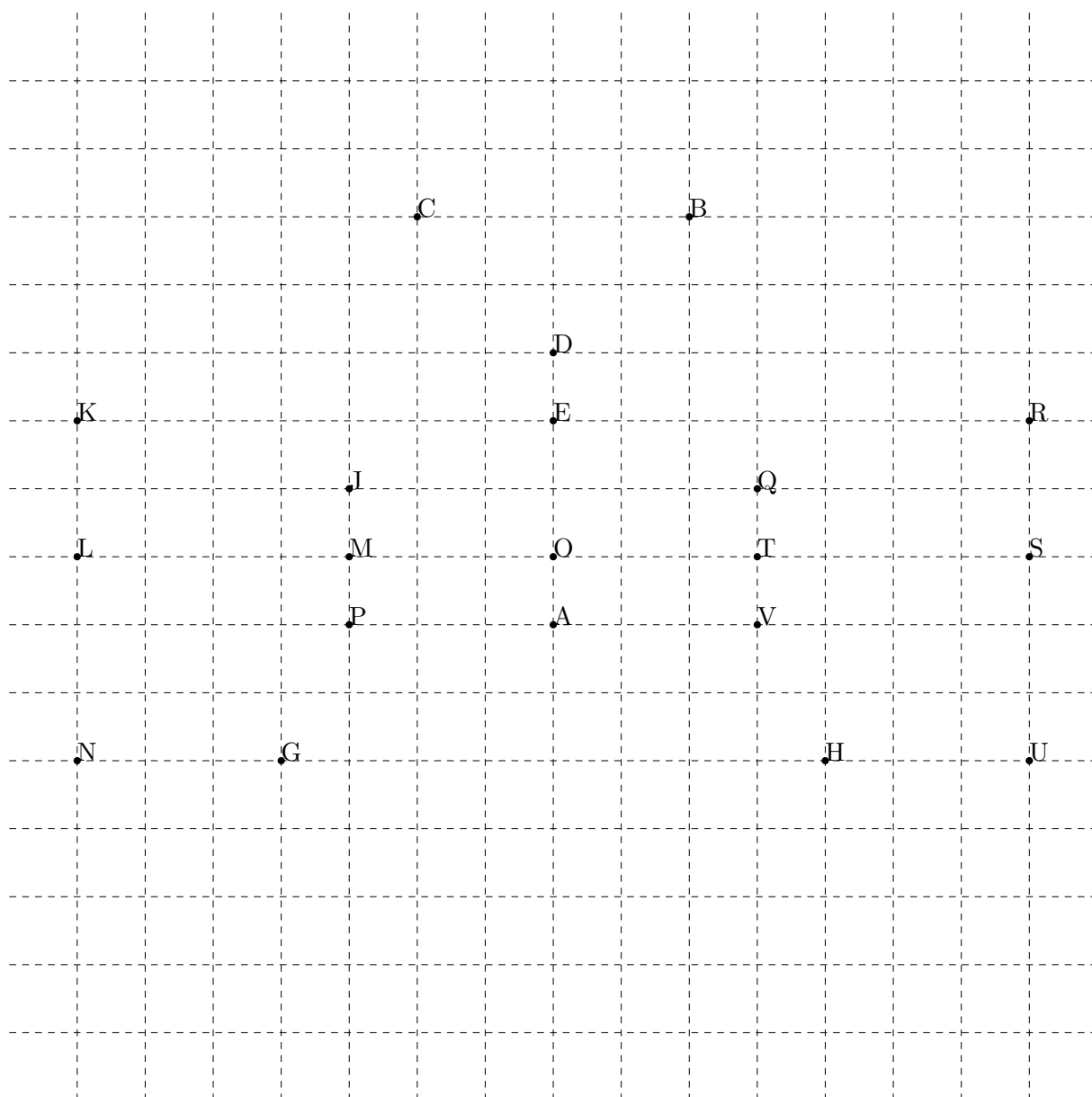
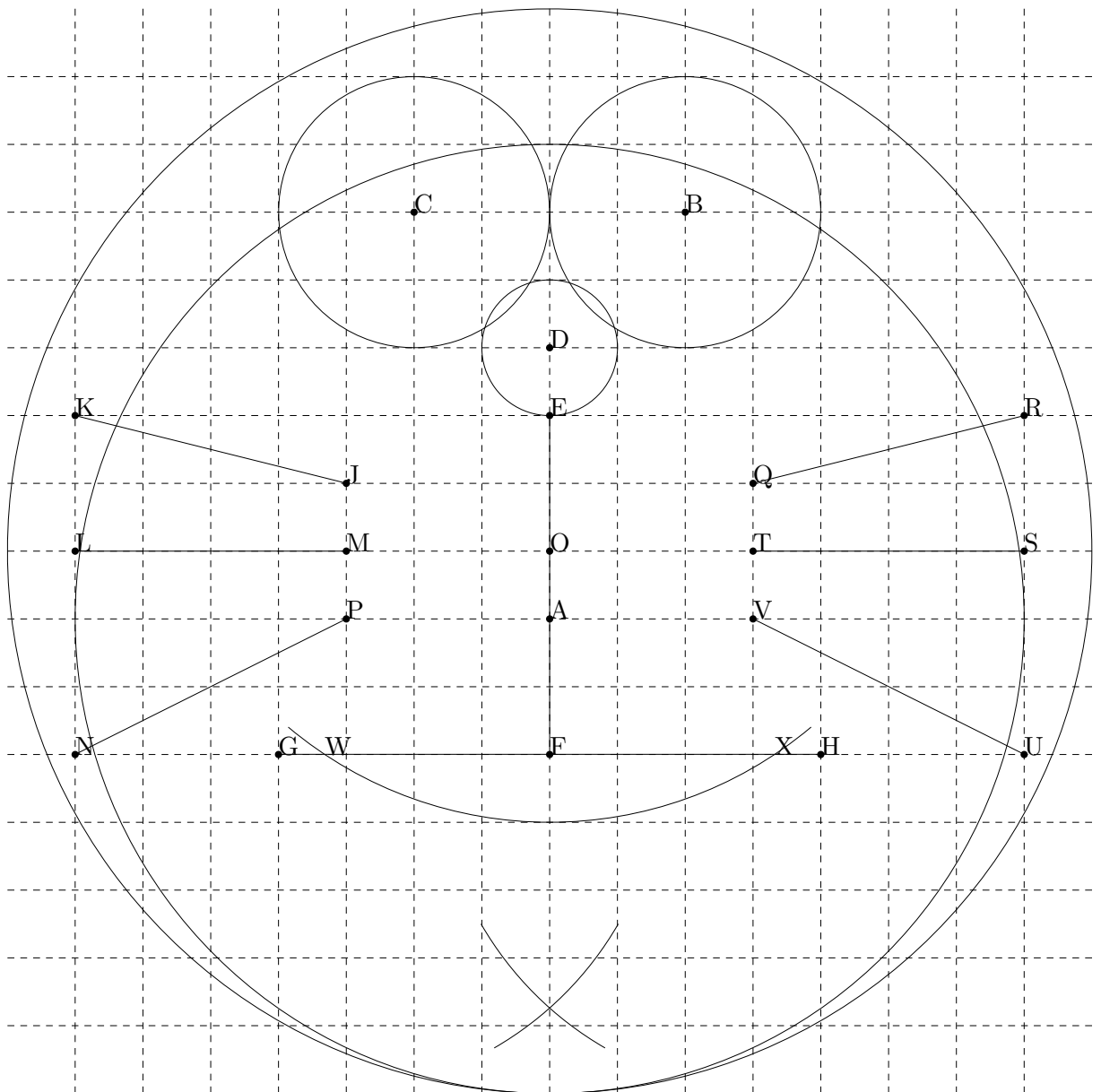


グラフでいろいろな図柄を描写しているのは見たことありますが、ここでは作図(コンパスと定規だけで図柄を描く作図アート)をご紹介します。まずは次のグラフ用紙を用意します。グラフの1目盛りは1cmです。



このグラフ用紙に次の作業をします。点  $O$  を中心とする半径  $8\text{ cm}$  の円を描きます。点  $A$  を中心とする半径  $7\text{ cm}$  の円を描きます。点  $B, C$  をそれぞれを中心とする半径  $2\text{ cm}$  の円を描きます。点  $D$  を中心とする半径  $1\text{ cm}$  の円を描きます。点  $G$  と点  $H$  を結びます。点  $E$  を通る線分  $GH$  の垂線  $EF$  を作図します。このとき点  $E$  を中心とする円の半径は  $6\text{ cm}$  ぐらいがよいでしょう。あとは点  $K, J, L, M, N, P, Q, R, T, S, V, U$  を結びます。すると次のようになりましたか？



これをいらないところを消しゴムで消し、目玉を書いてやると、ほらなにやら見慣れた絵ができましたね。

